

# 広報

# のほりべつ

● No. 399 ● 昭和59年 8 月 1 日 ● 発行 / 北海道登別市 ● 編集 / 総務部公聴広報課 ● 印刷 / 大洋印刷

### 主 な 内 容

- 昭和64年の一部利用開始を目指して—公  
共下水道事業…………… 2 P
- 昨年の豪雨災害を教訓に—登別市大規模  
防災訓練…………… 3 P
- 大雨災害から1年—その後の復旧状況を  
見る…………… 4・5 P
- 郷土史探訪 93 鉦山町Ⅱ…………… 6 P



## 実った練習の成果

登別南高校

早川さん アーチエリー 全道二位  
安藤さん 柔 道 全道優勝

去る六月三日、函館市で開かれた全道高等学校アーチエリー大会個人の部で、早川誠さん（三年）が堂々二位に入賞し、全国大会に出場する切符を手に入れました。

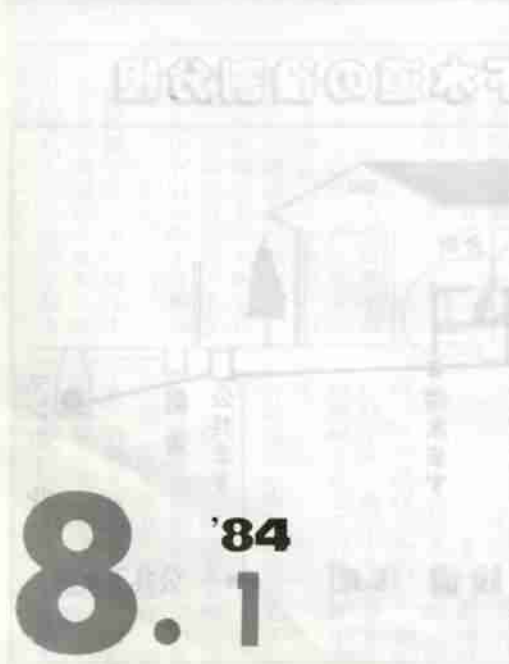
アーチエリーを始めて三年。「毎日の練習が実のりしました」と言う早川さんに、級友たちも温かい声援を送っています。

八月四日から鳥取で開催される全国大会に向け、コンデイションづくりに励んでいます。

一方、安藤喜代子さん（二年）は、旭川市で行われた全道高校総合体育大会の柔道女子個人戦重量級で見事優勝を飾りました。

日頃のけい古で、めきめき実力をつけ今大会でも、その成果を十分発揮しての勝利です。

二人の健闘に心から拍手を送り、今後の活躍をおおいに期待したいものです。



# 8. 1 '84

# 昭和64年の一部利用開始 を目指して

## 公共下水道事業



着々と進む汚水管理施設工事

都市づくりの最重要課題であり、市民要望も最も高い公共下水道事業は、トイレの水洗化や、家庭、工場の汚水を処理するなど健康で快適な生活を送るために、欠くことのできない公共施設です。今号では、現在建設が進められている下水道の整備状況や、建設に必要な巨額な費用のこと、そして一部使用開始した場合の各家庭の役割などを考えてみます。

### 汚水管九百五十メートル埋設

当市で現在下水道の工事を進めているのは、第一期下水道計画区域で、新川町一丁目から四丁目、富士町一丁目から七丁目の全域、緑町、桜木町、中央町、若山町の一部です。

工事は昭和五十六年度から着工され、今まで汚水管が九百五十メートル埋設されました。事業費も既に一億六千九百万円を投じています。汚水の終末処理場は若山町

一丁目の総合体育館附近に建設されます。

今後、網の目のように汚水管が埋設されていきますが、一部使用開始は昭和六十四年を目指して急ピッチで工事が進められています。

### 第一期計画に約六十八億円の巨費

下水道事業には巨額の資金を必要とします。当市でも第一期計画の区域内を整備するだけで、約六十八億円の巨費を要することになります。この巨額の費用をまかなう

財源として、国からの補助金があり、一定の補助規定があり、ほとんど市の財源を投入しなければならぬのです。このほか受益者負担金として、下水道事業が実施される区域に、土地を持つての方から、事業費の一部を負担していただきます。これは、下水道が完備されることで、その区

### 自宅改造費は約四十五万円

さて、昭和六十四年に下水道の一部利用が開始されると、各家庭では三年以内に自宅内の改造工事をしていただくこととなります。つまり家庭のトイレの水洗化・台所・浴室などの排水（汚水）を市が設置する「公共汚水ます」に接続する工事です。

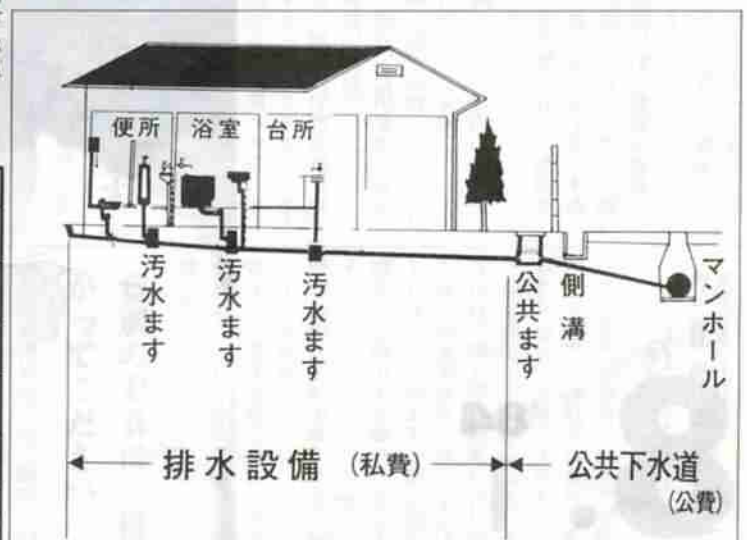
これらの自宅改造工事費は、昭和五十八年度単価で約四十五万円となり、詳しくは別表のとおりとなります。このほか前記した受益者負担金として土地一平方メートルに対して約四百九十円かかります。

### 地域から盛り上った預蓄組合の設立

しかし、一般家庭で四十五万円という高額な工事費をすぐ用意するということは、なかなか困難なことです。そこで第一期計画の区域内に居住する有志の方が、昭和六十四年の一部利用開始に備えて、資金を積立てしようとして、個人負担金預蓄組合を設立しました。

下水道事業を進めている他の市町村でも、このような積立ては行っていますが、すべて行政主導によるもので、住民自ら立ち上った例は全国的にもありません。

## 公共下水道の役割分担



### 各家庭での必要資金

(昭和58年現在の単価です。)

内 容	金 額	備 考
排水設備工事	100,000	排水管布設20m 汚水ます3ヶ所
衛生設備工事	120,000	便器、ロータンク等の価格及び取付費用
給水装置工事	60,000	既設管より取出し、水抜栓設置等
家屋改築等工事	170,000	トイレ内部改造工事、便槽処理費、その他諸経費等
計	450,000	
その他経費	受益者負担金1㎡当り490円(例100坪当り約160,000円)	

市民の下水道事業に対する意欲の高まり、関心の高さが、個人負担金預蓄組合設立という形で表れたということは、たいへん意義深いことではないでしょうか。

第一期計画の区域内に居住している方で、この組合に参加を希望される方、またはお問い合せは、南好男さん(5・3629)までどうぞ。

# 昨年の豪雨災害を教訓に

## 登別市大規模防災訓練

第三回の登別市防災訓練は、七月十三日、登別東町の井華塩業跡地で大規模に実施されました。

今回の訓練は、昨年九月の豪雨災害を教訓として行われたもので、陸上自衛隊、消防団、室警、土現、電電など十九団体と、小中学生や一般市民など約千七百人が参加。道内市としては最大規模の訓練となりました。

訓練は「登別川がはらん」  
「ポンアヨロ川決壊」という想定で進められ、避難訓練、水防工法訓練、仮橋架設訓練、電話回線復旧訓練などが緊迫感の中にもテキパキと行われ、大成功のうちに終了しました。この実績をふまえて、来年度は、道の総合防災訓練が当市で大々的に開かれることが予定されています。

防災の基本は、人命を守ることにあります。そのためには、このような訓練とともに、皆さんの日頃の心構えと、訓練が大切ではないでしょうか。



自衛隊による仮橋架設訓練



建設協会による水防工法訓練



日赤奉仕団による炊き出し訓練



避難訓練



消防団による土のう積み訓練



水道施設復旧訓練

契約管財課は、契約係、管財係、車両管理係の三係です。課長をはじめ十七名で業務を担当しています。職場は三階です。

市は、土地や建物など多くの財産を所有しています。管財係は、これらの市有財産の位置や数量を全体的に把握して総合的な管理をしています。市有財産のうち特に目的をもたない普通財産についても管理しており、貸付けや売却の処分なども行っています。この売り払いでできたお金は、市の貴重な財源となっています。

最近各地で公共の建物の火災が発生しています。市では、万一の火災に備え、全ての市有建物に火災保険を加入しています。この火災保険加入事務の仕事もこの係の仕事です。

このような内部管理事務のほか、皆さんが土地を売買する場合、売買価格の指標となる地価公示制度や、一定の面積以上の土地を売買される場合の事前届出など、土地取引に関する事務も行っています。

契約係では、市の発注する工事や測量の入札から契約の締結まで一連の手続き業務をしています。

また、市が発注する工事に入札参加を希望する業者からの入札参加申請書の受付審査や、格付けなどの業務も行っています。

工事を発注するにあたっては、公正、公平に指名業者を選定しなければなりません。このため市長は、関係部長からなる契約審議委員会の意見を聴いて決定します。これらの業務も契約係の仕事です。

車両管理係は、契約管財課の部屋とは別部屋となっており、車庫の二階が事務室となっています。

市役所の一部を除く全車両五十五台の運行管理と安全運転に目を光らせています。各課への公用車の貸し付けなどのほか、市長や議長の乗る公用車の運行業務もしています。

また、各地域と老人福祉センターを結ぶ福祉バスの運行。市内から室蘭白鳥学園に通学する児童生徒の送迎などもこの係の仕事です。

最近交通事故が激増しています。このような事態を未然に防ぐため最善の努力をしていますが、市では万一の事故に備え、自動車保険などの損害賠償保険に加入しています。この保険加入業務もこの係の仕事です。

こいちは市役所です

③ 契約管財課

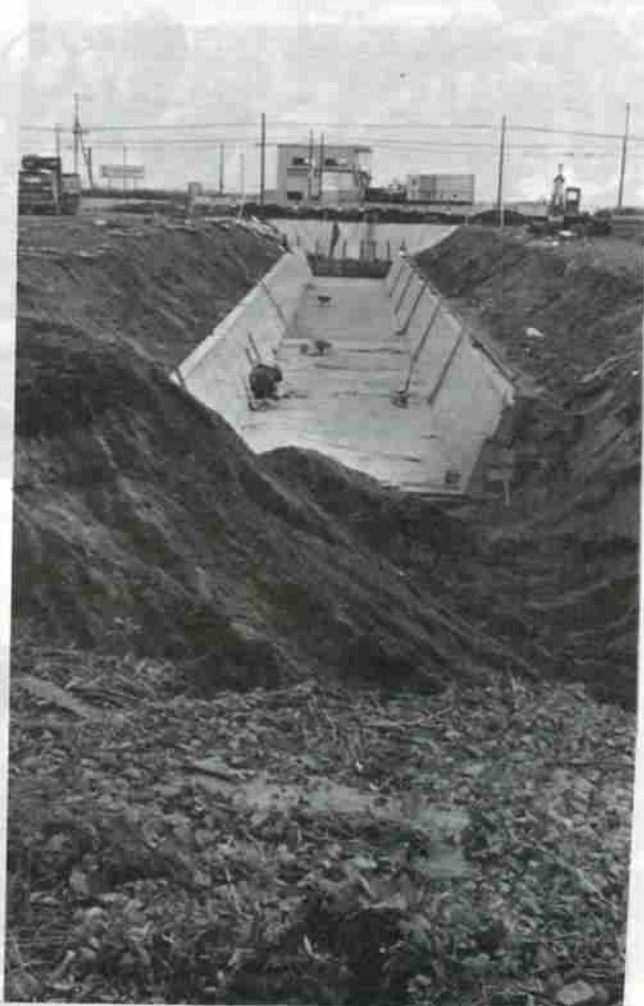
大雨災害から2年



岡志別・サト岡志別両河川のはんらんで、泥流と化した中央町と東団地周辺。また、両河川の合流地点。



両河川が合流しているため、河川の切り替えによって大雨災害に備えようとサト岡志別川の改修工事が60年度完成を目指して進められています。  
また、岡志別・ボンアヨロ両河川も、2級河川（北海道管理）に昇格し、道費で復旧工事が行われています。



開設以来第3位という  
別市を襲いました。  
れや道路を寸断し、河  
倒し、生活水を断ち切  
な被害を与えました。  
億6千万円にのぼってい

今号では、市内の各所で進められている災害復旧工事の中から、ボンアヨロ川のはんらんによって完全に路面が流失した道道洞爺湖登別線、崩壊したさくら橋の復旧状況と、幌別地区を泥流と化した岡志別・サト岡志別川。また、崩れた裏山の土砂が流入した、厚生年金病院の復旧状況を写真でお知らせします。

裏山が崩れ、その土砂が1・2階に流れ込み土砂に埋まった登別厚生年金病院（写真：左下）。  
院内の土砂は、すでに取り除かれ周辺の治山関係工事も進められています。また、7月16日には再建工事安全祈願祭が行われ60年度完成に向けて本体工事が着工しました。市では、全国に配転されたままになっている同病院従事者の早期復帰のため、一日も早い工事の完了を要請しています。

1年間は、市民一丸  
と努力によって以前の  
しています。



# その後の復旧状況 を見る



ホシアヨロ川のはんらんによって約500  
にわたり、深さ5~6m、3万立方mの  
土砂が流失した道道洞爺湖登別線（汐見坂  
付近）。

この道路は、登別温泉に通じる幹線道路  
のため、横路知事をはじめ室蘭土木現業所  
の方がたの尽力によって急ピッチで復旧作  
業が進められ、昨年の11月に舗装工事も完  
了し、全線が開通しました。



昨年の9月、気象  
記録的な大雨が、当  
この大雨は、山く  
川をはんらんさせ家  
など市民生活に基  
その被害総額は、約6  
ます。

いまわし 災害か  
となった復旧への意  
生活リズムを取りも



土砂・流水等の鉄砲水に  
よって崩壊した市道橋。こ  
の橋は、三夏病院と主要道  
路を結ぶ重要な橋のため、  
早急に歩道橋を架設し本年  
3月に新橋を完成しました。  
名称も「さくら橋」と改称。



# ふれあい広場



## ランボック岬で釣りを楽しむ

鈴木 清 春さん  
池田 明 春さん

七月二十日(金)午後6時、こ  
こはランボック岬から登別側へ約  
二百メートルの砂浜。長いサオが  
大きくおじぎしてしなると、シェ  
ルシユルの音とともに仕掛けが海  
に向って飛んでいきます。  
写真左の鈴木さんと池田さんの  
お二人は釣り仲間、釣れる釣れな  
いにかかわらず、シケでなければ  
海に行きサオを立てると聞けば、  
お二人はいわゆる釣りキチなの  
でしょう。

「二・四年前まではここでもイシ  
モチ、タカノハなんか釣れて、  
二時間ぐらいで晩ごはんのお  
かずに足りなくなりましたよ。でも  
今じゃなかなかそうはいきま  
せんね。それに海岸の様子も  
だんだんと変わっています。  
開発によってシケのたびに交  
わっていくんです。」と鈴木  
さんの口調はチョット淋しそう。  
それでも、最近のランボッ  
クでの戦果を聞くと――  
「6月の末でした。漁師の人  
から砂ボックが釣れると聞い  
て早速釣り始めたらクレー  
アいっぱいになりました」と口  
調も上昇加減。  
最後に「この前、通りが  
かりの人が、私のサオが動い  
ているのに気付き巻いてくれま  
した。やっぱり好きなんです  
ね」とおっしゃるお二人の笑  
顔がとて印象的でした。  
▼皆さんのまわりの身近な出  
米事を公聴広報課へお知らせ  
ください。  
(☎52111内線222)

## 街かどで市営水泳プール

7月21日、市営水泳プー  
ルは水温24度、室温36度と絶好  
のコンディション。これから  
は夏休みを迎えた子供たちが  
連日にぎわいそうです。



このコーナーに皆さんの写真をお寄せください

## 郷土史探訪

93 鉾山町II

### 金山から九マイルの馬鉄輸送

金・銀・銅を含有した幌別鉾山  
の鉾床が生成されたのはいつごろ  
だったのでしょうか。気の遠くな  
るような話ですが、カムイヌプリ  
・鶯別・米馬・オロフレ岳などの  
姿をまったく見ることでできない  
古い時代です。  
登別地方の地質の歴史から調べ  
ると、基盤に白亜紀時代の古い地  
層が鉾山町の北西約35キロメー  
トル幌別川の支流北側、大曲沢や熊  
の沢、そして鉾山町岩の崎坑附近  
の幌別川岸に露出しているのがみ  
られます。この時代は巨大な恐竜  
を思わせるは虫類の時代ですが、  
恐竜・翼竜もやや小形化し、やが  
て滅亡をたどる年代のもので、こ  
れが登別で最も古い六・七千万年  
前の地質です。  
その後、地質年代の第三紀  
になると登別地方は海面下に  
沈みますが、激しい火成活動  
が繰り返えし行われ、幌別層  
という堆積物により陸地化し  
この時に幌別鉾山が造成され  
ます。  
そして、第四紀洪積世の時  
代、約二百万年前から水河期  
になります。この時代にな  
ってからカルルス火山、米馬  
岳、札内のポントコ山、カム  
イヌプリ、鶯別岳などが火山  
活動を起こし、洪積世の後半  
には札内台地をはじめ、幌別  
川から北東、登別温泉や登別  
の山々が形成されます。



幌別鉾山の全景 (昭和初期)

新第三紀に造成された鉾山の金  
属鉾床は、前記説明のように古い  
年代なので、その後の火山噴出物  
などによって埋没しますが、褶曲  
や断層などの変動によって一部露  
出し、これが幌別鉾山の金・銀・  
銅などを含んだ鉾脈となります。  
製錬所は鉾山町そばにある岩の  
崎坑の前面を流れるエコイカオマ  
ベツ(右支流)の対岸に造られ、  
塔鉾爐は直径三尺五寸(一メー  
トル五センチ)、高さ十八尺(六メ  
ートル)三基を備えて、一日十ト  
ンから十三トンの鉾石を製錬した  
ようですが、鉾石は硫酸質でなか  
なか溶解せず、蛇田から酸化鉄や  
釜石から運搬した石灰石を加え  
て製錬に苦勞したようです。  
製錬するとマツト(銅鉄、硫黄  
引)張るいわゆる「馬車鉄道」で  
それもすべての貨物の運搬は請負  
い制でした。運賃は、幌別停車場  
の鉾山倉庫から製錬所まで冬期間  
は一トんにつき二円、夏期は七十五銭。  
一台のトロロッコに三トンを積む  
ことが出来るので、冬はトロロッコ  
一台分三円、夏は三円二十五銭の  
計算となり台数によっては収入も  
よいはずですが、鉾山への上り坂  
では、食糧はもちろん工場関係物  
を運搬するために取り替え用の馬  
の準備や下りでは重量のあるトロ  
ッコの暴走事故など、笑い話のよ  
うですが馬鉄の馬力にも限度があ  
り相当の苦勞があったようです。  
登別市郷土文化研究会  
宮武 伸一記

の混合物)とカラミ(いわゆるカ  
ナクソ)になり、マツトは更に精  
製して金・銀を含む粗銅として最  
初は大阪の三菱製錬所へ特約販売  
したようです。カナクソは四角の  
型わくに流入して堅石を作り、土  
砂崩れを防ぐ土止めや駅のホーム  
建物の敷石などに利用され市内各  
所でよく見かけたものです。  
明治四十年十一月に完成した鉾  
産物の運搬軌道は、幌別駅から中  
央町四丁目の千代田生命、小がね  
食堂直前の道路を村上薬局と丸宗  
会館の間道へ進みます。さらに米  
馬橋から富士町、片倉町、登別高  
校通りを直進し、ダムの所で鉄橋  
を渡り鉾山に向いますが、ここま  
でが約六マイル(九キロメートル)  
の距離です。  
そして、鉾山町から一躍有名に  
なった金山の旭鉾山までの距離三  
マイル(約五キロメートル)の軌  
道も明治四十二年に完成し、双方  
の総工費は当時で四万円という膨  
大な経費を投入しています。  
しかし、動力は馬がトロッコを  
引っ張るいわゆる「馬車鉄道」で  
それもすべての貨物の運搬は請負  
い制でした。運賃は、幌別停車場  
の鉾山倉庫から製錬所まで冬期間  
は一トんにつき二円、夏期は七十五銭。  
一台のトロロッコに三トンを積む  
ことが出来るので、冬はトロロッコ  
一台分三円、夏は三円二十五銭の  
計算となり台数によっては収入も  
よいはずですが、鉾山への上り坂  
では、食糧はもちろん工場関係物  
を運搬するために取り替え用の馬  
の準備や下りでは重量のあるトロ  
ッコの暴走事故など、笑い話のよ  
うですが馬鉄の馬力にも限度があ  
り相当の苦勞があったようです。  
登別市郷土文化研究会  
宮武 伸一記

# いぶり文芸・第15集の原稿を募集します

胆振文化振興協議会では、「いぶり文芸」第十五集の原稿を次のとおり募集します。

- ▽募集作品 創作・評論(20、30枚)、随筆(5、7枚)、詩(20、30行)、短歌(1人5首)、俳句・川柳(1人5句)
- ▽短歌、俳句、川柳は題名をつけてください。
- ▽応募資格 胆振管内に居住する方。
- ▽応募要領
  - 住所、氏名、年令、電話番号を明記してください。
  - 作品は一人一分野で一点です。
  - 応募用紙は原稿用紙B4大判とし、文字は楷書ではっきりと書いてください。
  - 作品は紙面の関係で予定数を越えたときは選考します。
- ▽場所 総合体育館
- ▽募集人員 30名(先着順)
- ▽費用 380円(スポーツ傷害保険料)
- ▽申込方法 8月15日までに総合体育館に電話で申し込みください。(TEL55552)
- ▽申込方法 8月15日までに総合体育館に電話で申し込みください。(TEL55552)

経費) 380円(スポーツ傷害保険料)

## 婦人水泳教室に「ご参加ください」

市教育委員会では、次のとおり婦人水泳教室を開催します。多数ご参加ください。

日時 8月21日(月)9月4日(木) 日・月曜日は除く。午後2時～4時まで

対象・募集人員 市内に居住する婦人30名

場所 登別市営水泳プール(総合体育館前)。なお、天候不順のため、水温が低い場合は登別市民プール(千歳町3-1)への変更があります。

費用 380円(スポーツ傷害保険料)

申込方法 所定の用紙に必要事項を記入、押印のうえ8月17日までに申し込みください。申し込み用紙は、市民プールにあります。なお、前回受講された方はご遠慮願います。

※定員をこえた場合は、8月18日午後2時から総合体育館で公開抽せんを行います。

詳しくは、市民プールにお問い合わせください。(TEL55588)

## 婦人の方を対象にバトミントン教室

市教育委員会では、市内にお住まいの婦人を対象に次のとおりバトミントン教室を開催します。

期間 8月21日(月)9月28日(日)の毎週火・金曜日(火曜日：午後1時～3時、金曜日：午前10時～正午)

場所 総合体育館

募集人員 30名(先着順)

費用 380円(スポーツ傷害保険料)

申込方法 所定の用紙に必要事項を記入、押印のうえ8月17日までに申し込みください。申し込み用紙は、市民プールにあります。なお、前回受講された方はご遠慮願います。

※定員をこえた場合は、8月18日午後2時から総合体育館で公開抽せんを行います。

詳しくは、市民プールにお問い合わせください。(TEL55588)

## 札幌交響楽団 宝くじコンサート

総員八十四名の札幌交響楽団が市民会館でコンサートをを行います。この機会に、スケールの大きい管弦楽曲をお楽しみください。

なお、このコンサートは、財団法人自治総合センターの宝くじ益金によって実施されるものです。

▽問合せ 市民会館(TEL110)

▽入場料 小学4年生以上の市内学生：整理券にて無料、一般：千円(なお、整理券、入場券の取り扱いは市民会館です)

▽曲目 モーツァルト・フルートの協奏曲第2番(長調K311)など、指揮：福村芳一、フルート独奏：細川順三

▽日時 8月18日(土)開演午後3時30分、開演午後4時

▽場所 市民会館

▽入場料 小学4年生以上の市内学生：整理券にて無料、一般：千円(なお、整理券、入場券の取り扱いは市民会館です)

▽曲目 モーツァルト・フルートの協奏曲第2番(長調K311)など、指揮：福村芳一、フルート独奏：細川順三

▽日時 8月18日(土)開演午後3時30分、開演午後4時

▽場所 市民会館

▽入場料 小学4年生以上の市内学生：整理券にて無料、一般：千円(なお、整理券、入場券の取り扱いは市民会館です)

▽曲目 モーツァルト・フルートの協奏曲第2番(長調K311)など、指揮：福村芳一、フルート独奏：細川順三



指揮者・福村芳一

## 市民会館で納涼音楽の夕べ

登別市軽音楽協会では陸上自衛隊北部方面音楽隊をむかえて、次のとおり演奏会を開催します。皆さん多数おこしください。

日時 8月13日、開演午後6時30分

場所 市民会館

内容 一部：登別市軽音楽協会「ハワイズ」の演奏「ミステイ」他 二部：第13施設群による北海道衛太鼓の演奏、三部：陸上自衛隊北部方面音楽隊のトランペット三重奏「ダークアイ」他

入場料 小・中学生：無料、一般：200円

▽問合せ 渡部さん(TEL3031)、または市民会館(TEL1100)

## 登別化石林の紹介とクツタラ湖のナゾ

市教育委員会では、胆振団体研究会の後援を得て、五月に発見された登別化石林の紹介とクツタラ湖のナゾについての講演会を次のとおり開催します。

日時 8月10日(金)午後6時30分～8時30分

場所 市民会館

講師・演題

北海道大学教授・勝井義雄：火山の不思議とクツタラ湖のナゾ

道開拓記念館特別学芸員・矢野牧夫：登別化石林の紹介

※なお、スライド、パネル展示、化石林の展示なども行いますので多数おこしください。

## 富浦墓地行き (8月13日～16日) 無料送迎バスを運行します

停車場、運行時刻をお確めのうえ、ご利用ください。

### 運行時刻表

① 上鷺別・鷺別地区～富浦墓地			
上ヨタ上鷺別駅前発	10:00	13:00	富浦墓地 発
松木商店前	10:02	13:02	鷺別小学校前
鷺別中学校前	10:06	13:06	鷺別西口前
鷺別小学校前	10:07	13:07	緑町2丁目(津村商店前)
東鷺別前	10:08	13:08	あかしや団地前
はまな川団地前	10:09	13:09	開発局前
帝国機業前	10:11	13:11	西富岸前
西富岸前	10:13	13:13	西富岸前
富岸前	10:15	13:15	帝国機業前
開発局前	10:16	13:16	はまな川団地前
あかしや団地前	10:18	13:18	東鷺別前
緑町2丁目(津村商店前)	10:19	13:19	鷺別小学校前
鷺別西口前	10:22	13:22	鷺別中学校前
鷺別小学校前	10:23	13:23	松木商店前
富浦墓地 着	10:30	13:30	上ヨタ上鷺別駅前 着
② 若草・幌別地区～富浦墓地			
上鷺別(千歳町3-1)発	10:00	13:00	富浦墓地 発
旭ヶ丘団地前	10:01	13:01	千歳町4丁目
若草入口前	10:02	13:02	市民プール前
若草中央前	10:03	13:03	登別電報電話局前
緑ヶ丘団地前	10:04	13:04	みゆき旅館前
千代の台団地前	10:05	13:05	阪井商店前
新生町1丁目	10:06	13:06	登別大谷高校前
新生町2丁目	10:07	13:07	坂木団地前
富岸小学校前	10:08	13:08	総合体育館前
道南バス若山営業所前	10:09	13:09	道南バス若山営業所前
総合体育館前	10:10	13:10	富岸小学校前
坂木団地前	10:13	13:13	新生町2丁目
登別大谷高校前	10:16	13:16	新生町1丁目
阪井商店前	10:17	13:17	千代の台団地前
みゆき旅館前	10:20	13:20	緑ヶ丘団地前
登別電報電話局前	10:21	13:21	若草中央前
市民プール前	10:24	13:24	若草入口前
千歳町4丁目	10:25	13:25	旭ヶ丘団地前
富浦墓地 着	10:35	13:35	上鷺別(千歳町3-1) 着
③ 幌別地区～富浦墓地			
登別高校前	10:00	13:00	富浦墓地 発
登別西小学校前	10:00	13:00	千歳町4丁目
登別市民会館前	10:01	13:01	幸町3丁目
幌別ホームストア前	10:02	13:02	三洋工業前
社宅十字街前	10:03	13:03	ソーダ工場前
フードセンター前	10:04	13:04	東小学校前
幌別小学校前	10:05	13:05	幌別小学校前
東小学校前	10:08	13:08	フードセンター前
ソーダ工場前	10:09	13:09	社宅十字街前
三洋工業前	10:10	13:10	幌別ホームストア前
幸町3丁目	10:12	13:12	登別市民会館前
千歳町4丁目	10:13	13:13	登別西小学校前
富浦墓地 着	10:15	13:15	登別高校 着
④ 登別地区～富浦墓地			
登別駅前	10:30	13:30	富浦墓地 発
登別(堅田南)前	10:31	13:31	富浦
登別中学校前	10:32	13:32	登別小学校前
登別小学校前	10:33	13:33	登別中学校前
富浦	10:35	13:35	登別(堅田南)前
富浦墓地 着	10:40	13:40	登別駅前 着

# 平和を祈って黙とうを

## 原爆投下・終戦記念日

八月六日・広島市、八月九日・長崎市の原爆の日を迎えるにあたり原爆死没者のめい福と世界恒久平和の確立を祈念して1分間のサイレンを吹鳴します。

原爆投下・終戦記念日には、皆さんもサイレントと同時に敬けんな

黙とうを捧げられますようお願いいたします。

▽日時  
○8月6日：午前8時15分から1分間（広島市原爆死没者慰霊式と平和祈念式）  
○8月9日：午前11時2分から1分間（長崎市原爆犠牲者慰霊式と平和祈念式）

## 一般健康診査を受診しましょう

老人保健法による一般健康診査（成人病検診・老人健康診査）を次のとおり実施します。健康で明るい生活を送るために、もれなく受診してください。

▽対象者 40歳以上の方で各種健康保険の被扶養者と国民健康保険加入者（保険組合を除く）およびその家族。

▽検診期間 8月1日～10月31日まで（土、日、祝日および各医療機関の休診日を除く）

▽検診場所 各医療機関（北大登別分院を除く）、室蘭登別総合健診センター

▽持参するもの 健康保険証（健康手帳をお持ちの方は、合わせて持参してください）

▽料金  
○一般診査：無料  
○精密診査：千円（受診後、市が発行する納付書により納入して

## 3カ月検診

▽内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導

▽日程・会場・対象地区  
8月30日：鶴別公民館（鶴別地区）  
8月31日：労働福祉センター（幌別地区）

▽受付時間 12時～12時15分

▽対象児 59年5月出生児

▽用意するもの 母子健康手帳、バスタオル

## ふれあう心の合言葉

一、心身をきたえよく働いて、活気あふれる豊かなまちをつくりましょう。



分間（長崎市原爆犠牲者慰霊式・平和祈念式典）  
○8月15日：正午から一分間（戦没者を追悼し平和を祈念する日）

## 食中毒に注意を

今年も食中毒の発生しやすい時期を迎えました。食中毒発生の未然防止のため次の事に注意しましょう。

（食中毒防止の心得）  
○調理前、食事前、用後は手を洗います。  
○台所は常に清潔にし、調理用具はよく水で洗います。  
○ハエなどの衛生害虫は定期的に駆除しましょう。  
○魚介類は水でよく洗い、生鮮食品はできるだけ早く調理しましょう。  
○食べるとき、食品にはできるだけ

## 入校の事前相談を実施しています

国立身体障害者職業訓練校（身体障害者の方で、技能修得のため、入校を希望する方を対象に、次のとおり職業訓練相談を行っています）

▽相談内容 訓練内容の説明、希望科目の体験、訓練科目の選定相談など。

▽実施期限 60年2月まで

▽訓練科目 洋服科、製くつ科、電子機器科、経理事務科、建築製図科、時計修理科、製版印刷科、洋裁科、写植印刷科、木材工芸科、その他。

▽申込・問合せ 国立北海道身体障害者職業訓練校（砂川市焼山60番地、TEL 01255②2774）

## 持ち家建設資金をご利用ください

道では、住宅金融公庫資金を利用してもなお自己資金の調達がむずかしい、マイホームの取得に困っている方がたに対して資金の一部を融資します。

また、北国型住宅建設の推進と木材需要の拡大をはかるため、高断熱住宅や地下室付き住宅、木造住宅などには割増し貸し付け制度を設けています。

▽貸付金額 250万円以内

▽利率 年6・504%

▽償還期間 15年以内

▽申込先 銀行、信用金庫、信用組合、農協、漁協

※詳しくは、胆振支庁建設指導課（TEL 014312219131）または取り扱い金融機関へお問い合わせください。

## ゆくえ不明者の相談所を開設します

皆さんの家族や親族の方で、家を出したり、出張先や働き先などから突然所在がわからなくなった方はいませんか。

道内では、四十九年から現在まで約四千人の方がゆくえ不明になっていますが、この中には不幸にして犯罪の被害者になったり、すでに死亡して身元がわからないために無縁仏として淋しく葬られている人もいます。

北海道警察本部では、このような人を少しでもなくすため、今年も次の日程で「ゆくえ不明者相談所」を開設します。

個人の名誉と秘密は堅く守られますので、安心してご相談ください。

▽日時 9月12・13日／午前9時30分～午後4時まで

▽場所 室蘭警察署（室蘭市新富町1・TEL 01431221519）

## 24時間テレビ

### 「愛は地球を暖めよう」

この企画で当市では昨年、約四十八万円の浄財が集まり、S-TVを通じて本部に送りました。今年は市民会館を会場に、8月18日午後7時から翌19日の午後7時まで昼夜を通して寄付をお待ちしています。皆さんの暖かいご協力をお願いいたします。

▽問合せ 本間国康さんへ（TEL 2580）

※なお、当日会場ではドジョウつかみなどいろいろの催しを用意しています。

## 登録のPRに一役かかってください

登録観光協会では、地獄谷の写真を入れた新しい観光名刺を作成しました。

名刺は、写真の上に登録温泉の「登録商標」である赤オニマシクと緑色で「のほりべつ」の文字が入っており、緑は森林浴ヘルシー志向のイメージです。値段は一箱二百円です。詳しくは、登録観光協会へお問い合わせください。（TEL 43311）

## 不用品ダイヤル市

⑤2111  
内線257

おわけします（売り）  
学習机、自転車（小学生用）、ベビー用品（ベットの、ベビーカー、ベビーバス）、エレクトーン、ホームタンク（90ℓ）、石油ストーブ（温風式、ポット式）、バイク（50cc）、冬タイヤ（615-13）、夏タイヤ（165-14）、石油風呂釜、冷蔵庫、編機、芝刈機

ゆずってください（買い）  
シングルベッド、食卓イス（子人供用）、掃除機、キーボード、バイク（250cc）、電子レンジ、ミシン、子供用ブランコ、百科辞典、冬タイヤ（500-10）

